

観光ガイド通信

2020.11.1 No. 3

(公社) 上田地域シルバー人材センター 観光ガイド班

10月20日、観光ガイドをスタート

新型コロナウイルス感染症の防止対策により活動を休止していた観光ガイド(受注ガイド)を10月20日から開始しました。

待ちに待った再開の喜びを噛みしめながらも、ガイド皆様の健康第一とお客様への安全対策を遵守した取り組みを進めてまいりますので、より一層の御理解と御協力をお願いします。

早速、10月22日は松本市立女鳥羽中学校2年生約120名が「上田学習」のため来訪され、ガイド12名の方々にご尽力いただきました。

当日は、あいにく雨降りでしたが、生徒たちは各班に分かれて、「上田城跡公園」「旧北国街道」「信州の鎌倉 別所温泉コース(北向観音、安楽寺本堂、三重塔、常楽寺本堂)」等を巡った一日でした。

当ガイド班も、久しぶりのガイド活動に緊張しながらも、持ち前の知見見聞で歴史文化を案内するなど生徒達にとっては貴重な経験をされたことでしょう。

～松本市立女鳥羽中学校の「上田学習」ガイド活動場面～



① 上田城跡公園に到着・集合



② 上田城跡公園櫓下



③ 傘をさしてのガイド(北向観音)



④ 安楽寺三重塔前

～女鳥羽中学校「上田学習」で

ガイドをされた方々の主な感想～

- ・上田城と旧北国街道は 15 人ずつでまとまったガイドでしたが、真剣にノートをとっている生徒もいました。コロナ禍で初めてのガイドでしたが、午前中は雨降りで大変でした。
- ・別所三寺のガイドは、指定場所において、生徒たちが 5 人グループで巡回してくるという初めての形で行われましたが、この話はしたか、またはダブっていないかわからなくなる時があり反省してしまいました。生徒達はグループ活動で楽しそうでした。少し疲れましたが楽しかったです。
- ・メモをしながら聞く生徒もたくさんいました。別所三寺は約 10 分間のガイドで短かったが、もう少し長くガイドができたらと思いました。
- ・最後のガイド地で生徒と先生がお礼を言ってくれました。久しぶりのガイドで楽しかったです。
- ・スケジュールがハード過ぎたのか、自由時間も必要かなと思いました。
- ・先生からは「学校で見る生徒達と違って、子供らしい姿をみせてくれますね。」「仲間・友達が何といても一番なんだあ。」と感想を話されていました。
- ・ガイド班は、非常に意義ある校外学習に協力できたと思います。



旧北国街道(柳町)を案内

ボランティアガイドも 11月から活動を再開

受注ガイドの活動再開に続いて、ボランティアガイドも11月から活動を開始することになりました。

「上田城内常駐」ガイドと「まちなか観光案内所」の2事業です。活動再開にあたっての概要については、既にご案内してありますが、お客様に喜ばれ、そして地域振興に貢献する大切な取り組みであります。皆様方のご協力をいただきなら進めてまいりますのでよろしくをお願いします。

お世話になっております。

今春から、ガイド班事務局にて応援業務を担当しています小林綾乃です。

ガイド班は、これまでの先輩たちの知恵・工夫・努力の賜物です。この活動が未永く続きますように、新しい風を吹かせながら“繋ぐ”ということを担当していければ、と思います。好きなガイドポイントは「常楽寺石造多宝塔」です。 よろしく願いいたします。

小林綾乃

元気で講習会「特別講演会」 「太陽と大地の聖地」～レイラインがつなぐ塩田平～を 開催しました

10月20日、丸子ふれあいステーションで「特別講演会」を開催し、観光ガイド班員と関係者総勢32名が参加しました。

講師に、上田市教育委員会生涯学習・文化財課の和根崎 剛 課長補佐をお招きして、日本遺産に至る経緯やその概要についてわかりやすくお話をいただき、今後の観光ガイド活動を進めるうえで、大変意義深い充実した講習会でありました。



パワーポイントを活用された講義場面



初めて丸子で開催したガイド講習会



(国宝)安楽寺三重塔

← 講演する和根崎 剛 氏



講師への御礼



質疑応答

※今回、ご参加されましたお二人から感想文を寄せていただきましたので、次のとおり掲載させていただきます。

観光ガイド班・元気で講習会「特別講演会」に参加して

観光ガイド班 阿部 利行

今年6月19日付けで文化庁から上田市が『レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」～龍と生きるまち 信州上田・塩田平～』として、日本遺産に認定され、10月12日丸子ふれあいステーションにおいて「特別講演会」が開催されました。

講演会では、市教育委員会和根崎剛課長補佐が認定経緯や他県の状況など自分の視察状況を交え分かりやすく話され、また文化庁との認定に至るまでの駆け引きなど貴重なお話も伺うことができました。これからの観光ガイドに活かしたいと思います。

信州最古の温泉といわれる別所温泉から国土・大地の神さま「生島足島神社」を通り「大日如来・太陽」が安置された「信濃国分寺」までは、1本の直線（レイライン）で結ばれています。夏至と冬至には「生島足島神社」の鳥居の中を太陽の光が通り抜けます。なんとも神秘的なパワースポットですね。

観光ガイド班は、新型コロナウイルスの影響を受け4月から活動を休止しており日々無聊をかこっていたところ、10月20日から活動を再開するとのことなので今からわくわくしています。

日本遺産「レイラインがつなぐ塩田平」に参加して

観光ガイド班 森 由美子

今年、上田市が認定された「日本遺産」

レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」～龍と生きるまち～

この魅力ある「テーマ」「ストーリー」をわかりやすく興味深くお話しいただきました。気候、温泉、山、池などの景観、歴史、寺社、文化財、文書、祈り、祭り、習俗、伝説など これらの全てが繋がって、私達の暮らしの中にあっただ、と改めて発見した思いでした。

これからのガイド活動の中で、さらに視野を広げて生かしていきたいと思います。



編集後記

今回の通信は、4ページ構成で作成しました。ガイド班皆様の生の声を掲載し、情報共有しながら「和」と「絆」を大切にまいります。

ガイド班事務局 伊藤正巳